

現金預金

現金勘定

通貨 他人振出の小切手 送金小切手 郵便為替証書
 配当金領収書 期限の到来した公社債の利礼

【例】決算に際し、配当金領収書 50,000 円・期限到来済み社債の利礼 30,000 円が未処理であった。

現金	80,000	受取配当金	50,000
		有価証券利息	30,000

銀行勘定調整表

銀行の残高証明書と会社の当座預金出納帳残高のくい違いを確認する表。
 一般的に決算手続きとして行う。

作成方法】

- (1)銀行残高 会社残高に一致させる。
- (2)会社残高 銀行残高に一致させる。
- (3)会社残高 あるべき残高 (B/S 計上高)
- 銀行残高 あるべき残高 (B/S 計上高)

修正仕訳】

調整表にもとづいて 会社残高を「あるべき残高」に修正をする仕訳

修正不要項目 ... 未取付小切手 未取立小切手 時間後預け入りによる銀行翌日記帳

・未渡小切手 ... 小切手振出時、当座預金の減少処理済みで、支払先に渡していないもの。

(1) ケース1

買掛金¥80,000を小切手を振出して支払った。

買掛金	80,000	当座預金	80,000
-----	--------	------	--------

決算時、上記小切手が未渡しだったことが判明した。

当座預金	80,000	買掛金	80,000
------	--------	-----	--------

(2) ケース2

広告料¥50,000を小切手を振出して支払った。

広告料	50,000	当座預金	50,000
-----	--------	------	--------

決算時、上記小切手が未渡しだったことが判明した。

当座預金	50,000	未払金	50,000
------	--------	-----	--------

広告料(費用)は発生しているため、費用の取消しにはならない。
 したがって、広告料の未払いとすること。

【参考】先日付小切手 ... 振出日記入欄が振出日より先日付の小切手のこと 受取手形 a/c で処理

売上代金として小切手¥70,000を受け取った。

現金	70,000	売上	70,000
----	--------	----	--------

決算時、上記小切手が先日付け小切手であることが判明した。

受取手形	70,000	現金	70,000
------	--------	----	--------

例題] 下記資料から銀行勘定調整表(3種類)と決算修正仕訳を示しなさい。

1. 銀行残高証明書の残高 ¥950,000
2. 当座預金出納帳(当座預金 a/c) 残高 ¥705,000
3. 不一致の原因として次の事項が判明した。
 - 仕入先へ振り出した小切手で、銀行で未払いのもの。(未取付小切手)
 - 八代商店渡し ¥60,000 玉名商店渡し ¥40,000
 - 得意先人吉商店からの当座振込み ¥200,000、当店に未達。
 - 当座借越の利息 ¥5,000 の引き落としが当店に未達。
 - 3月31日決算日に現金 ¥50,000 を預け入れたが、銀行では翌日預け入れとて処理された。(時間後預け入れによる銀行翌日記帳)

解答]

【】銀行残高 当座預金出納帳残高

銀行勘定調整表(平成 年3月31日)

	内訳	金額
銀行残高証明残高		950,000
加算:		
借越利息未記入		5,000
時間後預入れ		50,000
計		1,005,000
減算:		
未取付小切手		
八代商店渡し	60,000	
玉名商店渡し	40,000	100,000
当座振込未記入		200,000
当店の当座預金出納帳残高		705,000

(参考)

銀行残高	950,000
	5,000
	50,000
	-100,000
	-200,000
会社残高	<u>705,000</u>

【】当座預金出納帳残高 銀行残高

銀行勘定調整表(平成 年3月31日)

	内訳	金額
当店の当座預金出納帳残高		705,000
加算:		
未取付小切手		
八代商店渡し	60,000	
玉名商店渡し	40,000	100,000
当座振込未記入		200,000
計		1,005,000
減算:		
借越利息未記入		5,000
時間後預入れ		50,000
銀行残高証明残高		950,000

(参考)

会社残高	705,000
	100,000
	200,000
	-5,000
	-50,000
銀行残高	<u>950,000</u>

【B】銀行残高 当座預金残高, 当座預金残高 銀行残高

銀行勘定調整表 (平成 年3月31日)

摘要	金額	摘要	金額
銀行残高証明残高	950,000	当店の当座預金出納帳残高	705,000
加算: 時間後預入	50,000	加算: 振込未記入	200,000
計	1,000,000	計	905,000
減算: 未取付小切手		減算: 借越利息未記入	5,000
八代商店 60,000			
玉名商店 40,000	100,000		
	900,000		900,000

修正仕訳

当座預金	200,000	売掛金	200,000
支払利息	5,000	当座預金	5,000

【解法手順】

STEP1 当店の当座預金残高と銀行残高の2つのT勘定を作成する。

当座預金残高		銀行残高	
T/B	705,000	T/B	950,000
← 不一致 →			

STEP2 当店側で行うべき修正, 銀行側で行われるべき修正をそれぞれの勘定に記入し, 勘定残高 (本来のあるべき残高) が一致するかを確認する。

残高が一致しない場合は、修正が間違っているので再度修正項目を見直す。

当座預金残高		銀行残高	
T/B	705,000	T/B	950,000
	5,000		100,000
200,000	残高 900,000	50,000	残高 900,000
↑		↑	

あるべき残高」が一致すればOK!

この状態を表したものが上記【B】の銀行勘定調整表となる。

STEP3 【1】, 【2】の銀行勘定調整表を作成する場合は、上記勘定図を下図のように内側グループと外側グループにグループ分けする。(グループ分けの意味は別途説明)

当座預金残高		銀行残高	
T/B	705,000	T/B	950,000
	5,000		100,000
200,000	残高 900,000	50,000	残高 900,000

STEP4 【1】, 【2】のいずれの場合も、同じグループ内の調整項目を加算項目, もう一方のグループ内

の調整項目を減算項目として計算すればよい。

$$\cdot 950,000 (\text{銀行残高}) + 5,000 + 50,000 - 100,000 - 200,000 = 705,000 (\text{当座預金残高})$$

$$\cdot 705,000 (\text{当座預金残高}) + 100,000 + 200,000 - 5,000 - 50,000 = 950,000 (\text{銀行残高})$$